

2018年7月-9月号 Vol.43

# 支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈り、尊いご支援を感謝いたします。

今年の夏(7~9月)も、様々な出来事や奉仕の機会をいただき、充実した日々を過ごすことが出来ました。去年の9月21日に天より授かった娘(かなえ)が加わり、3人になった私たちの家族は、神の恵みに守られ、元気に暮らしています。妻(純子)の乳腺炎は二度ほど発症し40度以上の高熱を出しましたが、皆様のお祈りにより、10月から断乳を始めることが出来そうです。断乳の過程でトラブルが発生しないようにお祈りいただけますと幸いです。

娘は9月21日で満1歳になりましたが、日々新しいことを覚え、日を追うごとに成長する娘には目を見張らされています。1週間家を離れていると、もう新しいことが出来るようになっている。そういった驚きと喜びを与えてくれる娘の存在は、私の働きや考えにも良い影響を与えてくれています。生活の変化などの大変さもありますが、親になる喜びは遙かにそれ以上だということを噛みしめる日々です。





## 8年间の感謝 (対外支援において)

私たちは自分では自らの働きを「小さい」と思ってしまいがちですが、ふと振り返るときに、その小さな種が積み上げられ「森」になっていくのを見て驚く事があります。FVI はこれまで、神の国の理念を共有する開拓者的な働きに、「シード・マネー(種資金)」という形で祈り、支援してきました。日本の教会や個人の支援者の皆様から託された支援金から、8年間で合計1,200万円以上の支援をしてくる恵みに与ってきたことに気づき、私たちを忠実に用い続けて下さった主に感謝を捧げました。これはいち個人ではとうてい達成できないことですし、ひとつの教会ですら難しい金額かと思います。

何もないところから NGO 団体の創設に関わった 8 年前にはまったく考えられなかったようなことを、支援者の皆様の祈りとご支援という「思い」を用い、主がなさせてくださったことに、心から感謝しております。





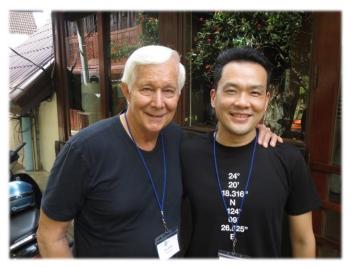




インドの学校建設や身分差別撤廃、バングラデシュの若者への奨学金、ガーナでの小さなビジネスのスタートアップ、エチオピアでの大学生・貧困層・ビジネス界への働きかけ、ウクライナの負傷兵への医療キットの送付と麻薬中毒患者のリハビリ支援など、これまで共に労してきた世界中の「神の国の働き」は多様で多岐にわたります。

# 北海道・愛知・チェンマイ (タイ)

この夏(7月~9月)は、様々な場所に行かせていただきました。 8月後半に北海道に行き、11月に予定されている「よにでしセミナー第二期」に向けた打ち合わせをし、9月中旬には愛知県の社会福祉法人「童里夢」にて全職員を対象に、「メンタルヘルス講座」を担当しました。また9月下旬にはタイのチェンマイで開催された、DNA Asia Forumに参加しました。FVI と理念を共有する活動をアジア各国で行っている約50名の方々が集まり、世界での働きの最前線の報告を聞くことができました。また、「人生のメンター」である、DNA 創始者のひとり、ボブ・モフィット師と5年ぶりに再会したことは私にとって大切な出来事でした。働きのために充実した日々を過ごせていることに感謝しています。





## メルマガ(シーズン2)を再闹しました

8月より、メールマガジン「陣内俊の読むラジオ」を再開しました。今回が「シーズン2」になります。このメルマガは、「森羅万象を語ることで聖書的世界観を伝える」ことを意図した日本で唯一のメールマガジンです。お手持ちの携帯デバイス(スマホ・タブレット)に、週に一回、「読むサプリメント」が無料で届きます。まだご登録なさっていない方は、是非ご登録を!既にご登録して楽しんでくださっている方は、どうぞ、お知り合いに勧めてください!

## メッセージ要約

「老いるとは何か」 主題箇所:詩篇 90 篇 10~12 節 2018 年 9 月 16 日、ICBC 主日礼拝(敬老の日)にて

9月後半にタイのチェンマイで5年ぶりに再会した私の「人生のメンター」であるボブ・モフィット師が14年前に、「現代の世界でサタンが世界に流布している最も悪質な嘘は、『若さへの賛美』だ」と教えてくれました。「この嘘のせいで現代の世界では多くの人が『年を重ねることの祝福』『成熟することの喜び』を味わえなくなってしまっている」と。超高齢化社会と言われる現代の日本で、教会が「老いることの意味・価値」を聖書から見出し、語り、その価値を社会に向けて発信していくことは非常に大切です。カナダの神学者、ジェームズ・フーストン師は著書『キリストのうちにある生活』のなかで「クリスチャンの長老の人生の物語こそ、教会の共同体の中で語られるべきです。それは、善く生きた人生の物語として、共同体全体を豊かにするでしょう。人生のそれぞれの段階には、その段階に応じた適切さがあります。しかしビンテージワインのように「成熟したクリスチャン」の証しや生き様を通して、私たちの人生は最も豊かにされ、喜びと楽しみが溢れるものとなるのです。」と書いています。

今から 10 年前、私は釈迦(ゴータマ・シッダールタ)が初めて説法をした場所として知られる、インドのバラナシ近郊にある、サラナスという場所を訪れました。釈迦は「老いる」ことを四苦(生老病死)の中に入れており、彼がそれに対して与えた「解決」は、「諦める・受け入れる」ということです。そこ



に「意味など求めてはいけない」と。対照的に聖書は、老いることの積極的な価値と意味を語っています。カルヴァンは教理問答で「人生の目的は何か?」「神を知ることである」「どこに幸福があるのか」「同様に、神を知ることである」と言っています。「生老病死」に引きつけると、私たちは生まれたときに神を知り、病気にならないと知ることのできない神の恵みがあります(私はこれに関しては専門家です)。老いたときにしか解らない神の恵みや深みがあり、そして死は終わりではなく、死が勝利に飲まれたことを確認するための通過点に過ぎないのです。

120歳まで生きた神の人モーセは、「日を正しく数えることを教えて下さい」と祈りました。今あなたが何歳であろうと、生かされている日々を、「自分を超えたもののために生きる」ことが、モーセのように「よく老い、よく死ぬ」ことの秘訣なのだと聖書は私たちに教えてくれます。

\*プレヤーレターで要約したメッセージはすべて、FVIの YouTube チャンネル「Voice for the Voiceless」でご視聴いただけます。

## 祈りの課題

- ◇家族の健康が支えられ、神のために喜びをもって奉仕することが出来るように。
- ◇FVI と「支える会」の会計が満たされ、活動が続けられるように。
- ◇妻(純子)の乳腺炎の癒しのため。断乳がスムーズに行くように。
- ◇11月の「よにでしセミナー第二期 in 札幌」に、主が選ばれた参加者が集まるように。日本の未来に貢献 するような「相互学習の共同体」が立ち上がっていくように。

#### 2018 年 9 月以降の予定

月日	内 容	場所、補足
10月7日	包括的宣教セミナー(柳沢氏と)	練馬グレースチャペル
10月23日	非常勤講師として授業	帝京科学大学
10月28日	礼拝メッセージ奉仕	練馬グレースチャペル
10月29~12月9日	包括的宣教体験キャンペーン実施(6週間)	同上
10月29日	FVI 総会	本郷台キリスト教会
11月23~24日	よにでしセミナー第二期 in 札幌	芸森スタジオ (札幌市)
2019年3月もしくは4月	海外パートナーの訪問 (調整中)	インド
随時継続的に	FVI の各種活動	国内各地

<sup>\*</sup>上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

#### 連絡先

〒202-0014 東京都西東京市富士町 4-4-15-402 「陣内俊を支える会」

陣内への Email shun@karashi.net 無料メルマガ、ブログなど→「陣内俊」で検索

#### 支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

**■ゆうちょ銀行口座番号** 12110-91889141 名義:「陣内俊を支える会」

■他行からの振込 店名(店番):○八九(ゼロハチキュウ)(089)預金種目:当座

口座番号:0142825 「陣内俊を支える会」

■郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義:「陣内俊を支える会」

(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

- \*振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- \*振込用紙(赤色・手数料当方負担)を同封いたしますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。(毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。)
- \*Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。